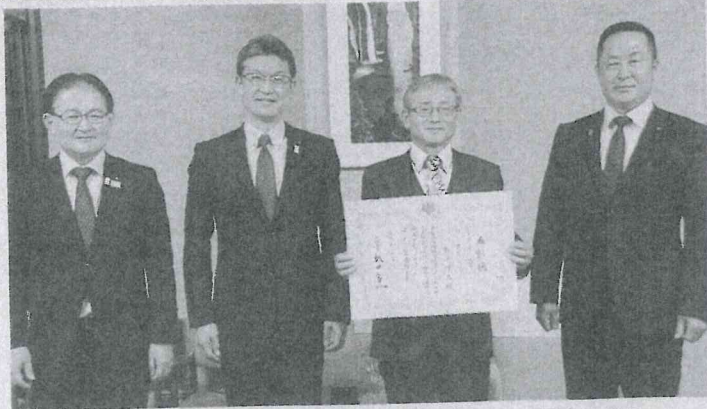


# 総務省のふるさとづくり大賞 県庁

## 高千穂町の飯干さんに伝達

先進的な地域づくりの活動に取り組み個人や団体をたたえる総務省の「2020年度ふるさとづくり大賞」で、高千穂町向山区の飯干淳志さん(66)が総務大臣表彰に輝



「ふるさとづくり大賞」総務大臣表彰を受賞した飯干淳志さん(右から2人目)と河野知事ら＝県庁

き、9日に県庁で河野知事から伝達された。

飯干さんは過疎化が進む向山区の持続可能な地域づくりを志し、09年3月に54歳で町役場を早期退職。地元で荒廃した農地の再生に努めながら、翌10年6月に高千穂ムラたび協議会を設立し、農作物の栽培やぶろく、甘酒造り、古民家を活用した民宿経営などに取り組んできた。

活動をさらに実現性の高い事業へと発展させるため、12年2月に同協議会を株式会社高千穂ムラたびへと法人化。若い担い手を積極的に雇用して地域資源を生かした新たな産業を創出し、海外へ

の販路開拓、農村ツーリズムによる交流人口の拡大にも成功している。受賞に際しては、役場で培った経験や知識を生かしながら、さまざまな地域課題の解決に率先して取り組んでいる点が高く評価され、「観光協会の会長に就任することは、地元の人々にも信頼されている証であり、さらなる活躍が期待される」と絶賛された。

何の手引きもない中で「いまも暗中模索を続けている」という飯干さん。故郷を再生するヒントを探るため借金してまで海外を旅して回るうちに、観光地ではないローカルツーリズムへの関心の高さに気付かされたという。

すでに向山区は、新型コロナウイルスの感染

拡大で観光需要が落ち込む中でも連日客足が絶えない人気スポットに成長しているが、「まだまだ農村ツーリズムの潜在的な可能性は大きい」と確信。「観光産業をしっかりと伸ばしていく取り組みは、

今後の西臼杵の核となる」と力を込める。県内でふるさとづくり大賞の受賞は、日向市の財光寺農業小学校以来9年ぶり。飯干さんは「若い人たちが加わり、いろんな効果を出す環境がで

きた。チャレンジする人が増えてほしいし、気概を持って動いてくれれば県内からどんどん受賞者が出てくる」と期待を込めた。

日本「高天原物語」プロローグ  
舞踊劇

延岡

国文祭・芸文祭さきがけプロプログラム

国文祭・芸文祭みや  
ざき2020さきがけ

高天原物語は延岡市  
出身の日本舞踊家、花

プログラムの一つ、日  
本舞踊で神話を描く

柳達真さんが「神話

「天翔（かけ）る神々

高天原物語プロロー

グ」が3月28日午後2

時から城山公園二の丸

広場で披露される。入

場無料。



花柳達真さん



「高天原物語」に出演する延岡日本舞踊協会の  
皆さん。昨年12月、撮影時のみマスクを外しま  
した。

3月28日、城山特  
設ステージで披露

を題材に創作、舞踊と  
せりふと共に進行する  
舞踊劇で、愛宕山（笠  
沙山）、高千穂峰、天孫  
降臨など県北になじみ  
深い言葉が随所に登場

する。

プロローグでは、今  
年8月の本公演を前に  
物語の一部を先出しす  
る。延岡日本舞踊協会  
（花柳慶次松会長）の  
会員らが、二の丸広場  
の特設ステージで披  
露。当日はワーク  
ショップも予定してい  
る。

客席は500席を予  
定。感染防止の取り組  
みを徹底した上で実施  
するが、今後の新型コ  
ロナウイルス感染症の  
状況によっては縮小や  
中止となる場合があ  
る。問い合わせ先は市  
国民文化祭・障害者芸  
術文化祭推進室（☎延  
岡20・515153）。



国文祭・芸文祭の公式ガイドブック。A4判86  
ページ。ホームページからのダウンロードも可能